
**Japanese Unexamined Utility Model Application, First Publication
No. H2-129281**

Date of First Publication: October 24, 1990

Japanese Utility Model Application No. H01-37080

Application Date: March 29, 1989

Title of the Device: Masking Material

**Creators of Device: Shuichi MIYAGAWA
Hidetoshi KONDO
Shogo TAKAGI**

**Applicant: Araco Corporation
25 Kamifujiike, Yoshiwara-cho, Toyota-shi, Aichi**

Agent: Hidehiko OKADA Patent Attorney et al.

**Int. Cl.⁴
B 05 B 15/04**

**ID Code
102**

**Internal Ref. No.
6701-4F**

Examination: Not requested

Number of Claims: 1(2 pages in total)

Page 6, line 5 to 14

With respect to the masking material 25 formed as above, the most forward masking piece 26a is inserted into the attachment hole 22a for example as shown in Figure 2 and the thread member 30a on the distal side thereof is turned back along the conical surface 27. By this insertion, the masking piece 26a is fit into the attachment hole 22a by being elastically deformed around the edge of the attachment hole 22a and the attachment hole is sealed in a columnar state by elastic fastening at the position where it matches the hole diameter of the cone surface. The thread member 30a is locked in a hanging down state on the bottom surface 28 side of the masking piece 26 and the outside of the attachment hole 22a.

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-129281

⑤ Int. Cl.⁵
B 05 B 15/04識別記号
1 0 2庁内整理番号
6701-4F

⑬ 公開 平成2年(1990)10月24日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑭ 考案の名称 マスキング材

⑮ 実 願 平1-37080

⑯ 出 願 平1(1989)3月29日

⑰ 考 案 者 宮 川 宗 一 愛知県豊田市吉原町上藤池25番地 アラコ株式会社内
 ⑰ 考 案 者 近 藤 秀 俊 愛知県豊田市吉原町上藤池25番地 アラコ株式会社内
 ⑰ 考 案 者 高 木 正 吾 愛知県豊田市吉原町上藤池25番地 アラコ株式会社内
 ⑰ 出 願 人 アラコ株式会社 愛知県豊田市吉原町上藤池25番地
 ⑰ 代 理 人 弁理士 岡田 英彦 外3名

⑰ 実用新案登録請求の範囲

フロアパネルの下面に防錆塗料を塗布する際に前記フロアパネルに配設された孔をマスキングするマスキング材であつて、前記孔を栓状に封止可能にプラスチック発泡体からなる円錐面を有する複数個のマスキング駒を略数珠状に切離可能に連結成形するとともに、この略数珠状の連結体の中心に沿つて糸部材を挿通状に成形してなるマスキング材。

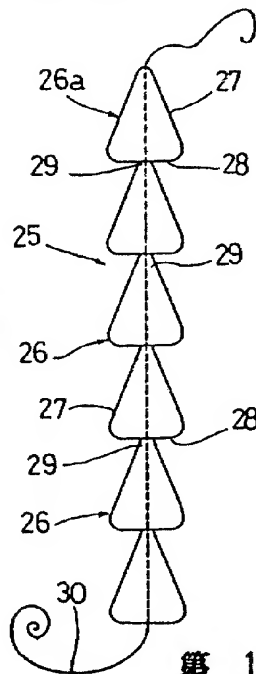
図面の簡単な説明

図面は、本考案の一実施例を示し、第1図はマ

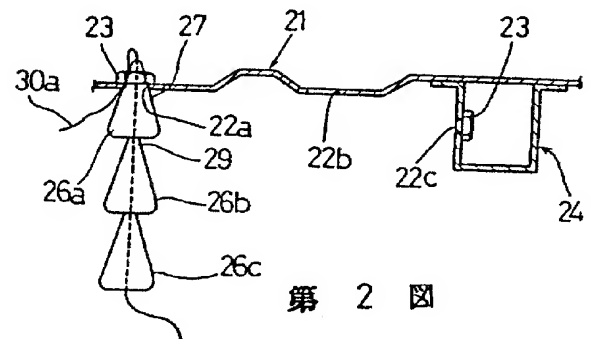
スキング材の正面図、第2図ないし第4図はマスキング材の使用説明図、第5図はマスキング駒を離脱して第4図丸印部分の拡大断面図、第6図ないし第8図はマスキング材およびマスキング駒の別態様を示す正面図、第9図ないし第13図は従来例である。

21……フロアパネル、22a, 22c……取付孔、22b……挿通孔、25, 32, 33……マスキング材、26, 34, 35……マスキング駒、27, 27a, 27b……円錐面、30……糸部材。

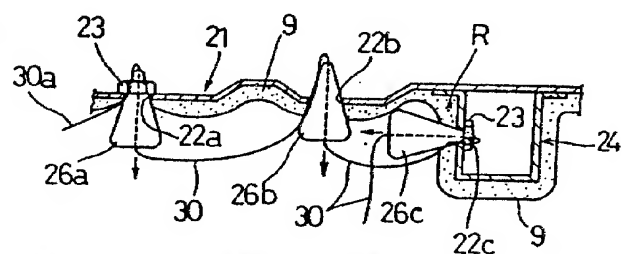
21…フロアパネル
 22a, 22c…取付孔
 22b…挿通孔
 25, 32, 33…マスキング材
 26, 34, 35…マスキング駒
 27, 27a, 27b…円錐面
 30…糸部材



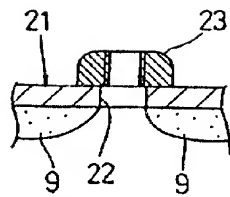
第1図



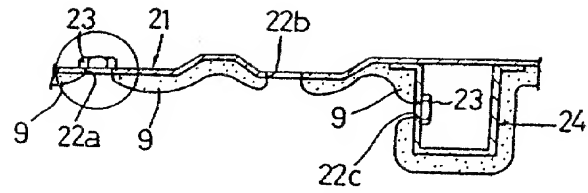
第2図



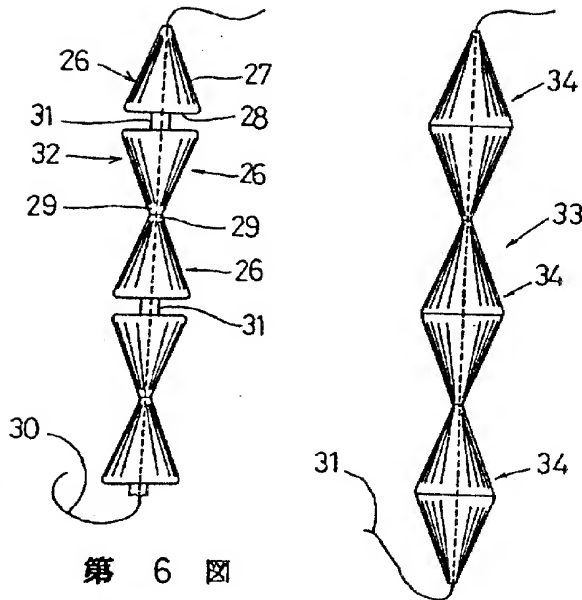
第3図



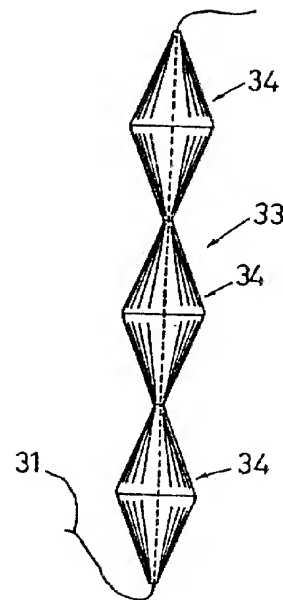
第 5 図



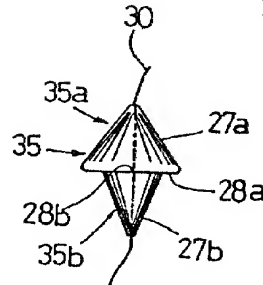
第 4 図



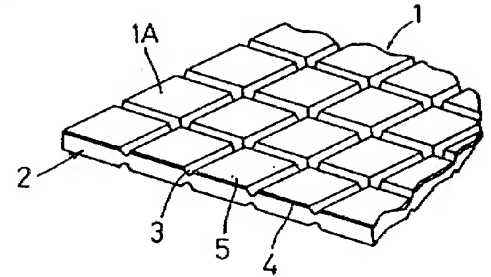
第 6 図



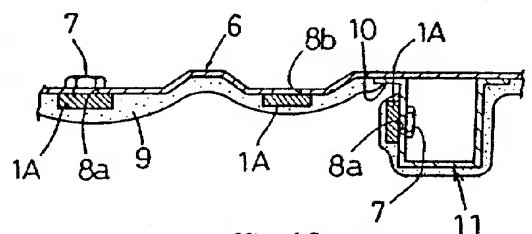
第 7 図



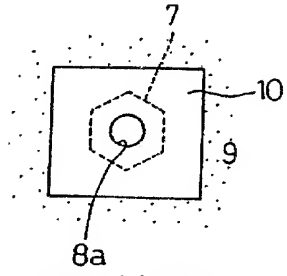
第 8 図



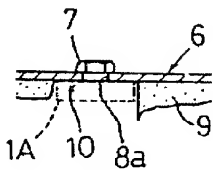
第 9 図



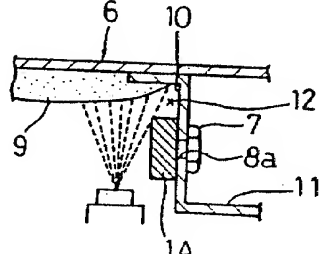
第 10 図



第 11 図



第 12 図



第 13 図

公開実用平成 2-129281

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平2-129281

⑬ Int. Cl.⁸
B 05 B 15/04

識別記号
1 0 2

庁内整理番号
6701-4F

⑭ 公開 平成2年(1990)10月24日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 マスキング材

⑯ 実 願 平1-37080

⑰ 出 願 平1(1989)3月29日

⑱ 考 案 者	宮 川	宗 一	愛知県豊田市吉原町上藤池25番地	アラコ株式会社内
⑲ 考 案 者	近 藤	秀 俊	愛知県豊田市吉原町上藤池25番地	アラコ株式会社内
⑲ 考 案 者	高 木	正 吾	愛知県豊田市吉原町上藤池25番地	アラコ株式会社内
⑳ 出 願 人	アラコ株式会社		愛知県豊田市吉原町上藤池25番地	
㉑ 代 理 人	弁理士 岡田 英彦		外3名	



明 細 書

1. 考案の名称

マスキング材

2. 実用新案登録請求の範囲

フロアパネルの下面に防錆塗料を塗布する際に前記フロアパネルに配設された孔をマスキングするマスキング材であって、前記孔を栓状に封止可能にプラスチック発泡体からなる円錐面を有する複数のマスキング駒を略数珠状に切離可能に連結成形するとともに、この略数珠状の連結体の中心に沿って系部材を挿通状に成形してなるマスキング材。

3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この考案は例えば車両のボデー床裏面に防錆のため塩ビプラスチックを塗布する際に供するマスキング材に関する。

〔従来の技術〕

従来、この種のマスキング材として例えば実開昭62-56171号公報のものがある。この公

報に開示されたマスキング材 1 は第 9 図に示すようにプラスチック発泡体からなる板 2 に図示のように基板目状に条溝 3 を凹設して切離可能に設けられ、同マスキング材 1 の各マスキング片 1 A の面には粘着層 4 及び離型性シート 5 が貼着され、このように形成されたマスキング材 1 は例えば第 10 図に示すように車両の床板 6 に他の構成部品を取付けるためのウエルドナット 7 等を付けた孔 8 a、あるいはワイヤハーネス等を挿通する挿通孔 8 b 等の部分に対し、マスキング材 1 はマスキング片 1 A に切離して同床板 6 の裏面側に孔 8 a、8 b を遮蔽状に貼着し、床板 6 下面側に防錆用の塩ビプラチソル 9 が塗布されていた。

〔考案が解決しようとする課題〕

しかしながら、第 11 図に示すようにこのマスキング片 1 A は孔 8 a、8 b 等より比較的面積が大きいことからマスキング面積が大きくなり構成部品を取付けるためマスキング片 1 A を取り除くと塩ビプラチソル 9 の未塗布部分 10 を大きく生じ、締結部分の防錆を確保することができず、ま

た、粘着層 4 によりマスキング片 1 A を全面貼着するので、塩ビプラチソル 9 の塗布後、剥離する場合工具により引掻き疵等を生ずる問題点があり、また、例えば第 10 図および第 13 図に示すようにラインホースメント 11 に設けたウエルドナット 7 の部分にマスキング片 1 A を取付けた場合、図示のように同片 1 A が床板 6 に近接するとその空間部 12 に塩ビプラチソル 9 を十分に塗布することができず、未塗布部分 10 を生ずる等の問題点があった。

本考案は上記従来の問題点を解決すべくなされたもので、マスキング面積を可及的に小さくすることができて、防錆塗料の未塗着部分を著減することのできるマスキング材を提供することを目的とするものである。

〔課題を解決するための手段〕

本考案は、上記技術課題を解決するため、フロアパネルの下面に防錆塗料を塗布する際に前記フロアパネルに配設された孔をマスキングするマスキング材であって、前記孔を栓状に封止可能にブ

]

ラスチック発泡体からなる円錐面を有する複数個のマスクング駒を略数珠状に切離可能に連結成形するとともに、この略数珠状の連結体の中心に沿って系部材を挿通状に成形してなるマスクング材に存する。

〔作用〕

上記構成としたことにより、円錐面を有するマスクング駒は複数個の孔に対し栓状に嵌入することでくさび状に作用して同孔を遮蔽し、かつ系部材により一連に連繋される。

〔実施例〕

次に、本考案の一実施例を図面にしたがって説明すると、図中21は例えば車両のフロアパネルであって、同パネル21には構成部品を取付けるための取付孔22a、あるいはワイヤハーネス等を挿通する挿通孔22bがその所要個所に貫設され、取付孔22aにはウエルドナット23がそのねじ孔23aを整合して溶着され、また、フロアパネル21の所定位置の下面にはラインホースメント24が溶着手段等により取付けられ、このリ

インホースメント 24 にも構造部品を取付ける取付孔 22c 及びウエルドナット 23 が取付けられている。このように形成されたフロアパネル 21 の下面に防錆用の塩ビプラチソル 9 を塗布するに先立ち、各取付孔 22a, 22c 及び挿通孔 22b にはマスキング材 25 のマスキング駒 26 が嵌込み固定されている。

このマスキング材 25 はプラスチック発泡体からなるもので、多数個のマスキング駒 26 が切離し可能に略数珠状に一体に連結してなるもので、このマスキング駒 26 はフロアパネル 21 に貫設された取付孔 22a, 22c 及び挿通孔 22b の各種の径に対処可能に所定の径を有する底面 28 と所定の高さの略円錐面 27 とにより略円錐形状に形成され、その底面 28 の中心部に他の駒 26 の頂部 29 が連結されて略数珠状に一体形成されるとともに、この略数珠状に連結されたマスキング材 25 の中心部に沿って所定の長さを有する系部材 30 が一体状に設けられ、同系部材 30 はマスキング材 25 の両端より所定の長さ延出されて

いる。この系部材30は抗張力が大きく、かつ毛羽たちが少ない、比較的細い(100 μ 程度)例えばあま系、合成繊維系からなる釣系あるいは通称たこ系等から形成されている。

上記のように形成されたマスキング材25は一番先端のマスキング駒26aを第2図に示すよう例えば取付孔22aに対し、その先端側の系部材30aを円錐面27に沿って折返し状にして挿入する。この挿入によりマスキング駒26aは取付孔22aの縁に対し弾性変形されて嵌入され、円錐面27の孔径に見合う位置で弾性係着されて取付孔22aは栓状に封止され、系部材30aはマスキング駒26aの底面28側とともに取付孔22a外に垂れ下り状に係止されている。次に、次位のマスキング駒26bを駒26aの底面28より切離し、駒26bを上記と同様にして挿通孔22bに栓状にして封止し、以下各マスキング駒26c, 26d...を各孔22c, 22d...に対し順次切離して栓状にして封止する。このように各孔22a, 22b...を栓状に封止した各マスキング

駒 2 6 a , 2 6 b … は系部材 3 0 により一連に連繋されている。

このように各孔 2 2 a , 2 2 b … をマスキング駒 2 6 a , 2 6 b により栓状にして封止を完了したもとの防錆用の塩ビプラチゾル 9 の塗布を行なう。そして塗布完了後、系部材 3 0 を図示矢印方向へ引張ることで各マスキング駒 2 6 a , 2 6 b … は系部材 3 0 により一連に連繋されて各孔 2 2 a , 2 2 b … より離脱することができる。

上記したように本例マスキング材 2 5 はそのマスキング駒 2 6 a , 2 6 b … を切離し、系部材 3 0 により連繋された状態で各孔 2 2 a , 2 2 b … に栓状に封止するものであるから、塩ビプラチゾル 9 を塗布した後、マスキング駒 2 6 a , 2 6 b … を取外すと、第 5 図に示すように塗布された塩ビプラチゾル 9 は孔 2 2 の縁にほぼ沿うように塗布されるので未塗布部分を著減することができ、また、第 3 図に示すラインホースメント 2 4 の取付孔 2 2 c に取付けたマスキング駒 2 6 c のかけとなるコーナー部分 R ではマスキング駒 2 6 を略

円錐形状に形成し栓状に封止して取付けたものであるから、吹付ける塩ビプラチゾル 9 はコーナ一部分 R への回り込み塗布が可能となり、同コーナ一部分 R のかげとなる部位の未塗布部分の発生を著減することができ、また系部材 30 を引張るだけで駒 26 を離脱することができるので引掻き疵等を生ずることがない。また、マスキング駒 26 は所定の径を有する底面 28 を基円とする円錐面 27 を有する形状としたので、各種の孔径の孔 22 a, 22 b … と対処することができる。なお、このマスキング駒 26 の設定はそのフロアパネル 21 に配設される孔 22 の径によりその基円となる底面 28 の径及び円錐面 27 の高さが設定される。また、マスキング駒 26 は孔 22 より離脱後、系部材 30 により連繋されているので、散逸して作業床を汚すことがない。

なお、上記実施例においては略円錐形状のマスキング駒 26 a, 26 b … を同方向に一体状の略数珠状に成形して例示したが、これに限定するものではなく、例えば第 6 図に示すように底面 28,

28と底面28とを軸頸31により切離し可能に連結し、頂部29を突合せ状に切離し可能に一体に連結成形したマスキング材32として系部材30を中心部に設ける構成としてもよい。また、円錐面27を有する駒形状としては上記したマスキング駒26の他に例えば第7図に示すように2個の駒26の底面28を接合して一体に成形した駒34を切離し可能に連結成形したマスキング材33としてもよく、また、第8図に示すように基円なる底面28a, 28bの径及び円錐面27a, 27bの高さの異なる駒35a, 35bを図示のように一体成形したマスキング駒35であってもよい。また、駒形状として長楕円体、半楕円体形状のものも本技術範囲に属するものである。

〔考案の効果〕

本考案は、上記のように構成したものであるから、フロア裏面に塗布される塩ビプラチゾルは孔の縁にほぼ沿うように塗布されて未塗布部分を著減することができ、また、フロア下面に突出状に設けられたラインホースメントに取付けたマスキ

ング駒によりかけとなるフロア部分にも充分塗布することができてかけ部分の未塗布部分の発生を著減することができる。また、系部材を引張るだけでマスキング駒を容易に離脱することができて、引掻き疵を生ずることがない。また、円錐面を有するマスキング駒としたので各種の径の孔に対処することができ汎用性を高めることができる。

4. 図面の簡単な説明

図面は、本考案の一実施例を示し、第1図はマスキング材の正面図、第2図ないし第4図はマスキング材の使用説明図、第5図はマスキング駒を離脱して第4図丸印部分の拡大断面図、第6図ないし第8図はマスキング材およびマスキング駒の別態様を示す正面図、第9図ないし第13図は従来例である。

21…フロアパネル

22a, 22c…取付孔

22b…挿通孔

25, 32, 33…マスキング材

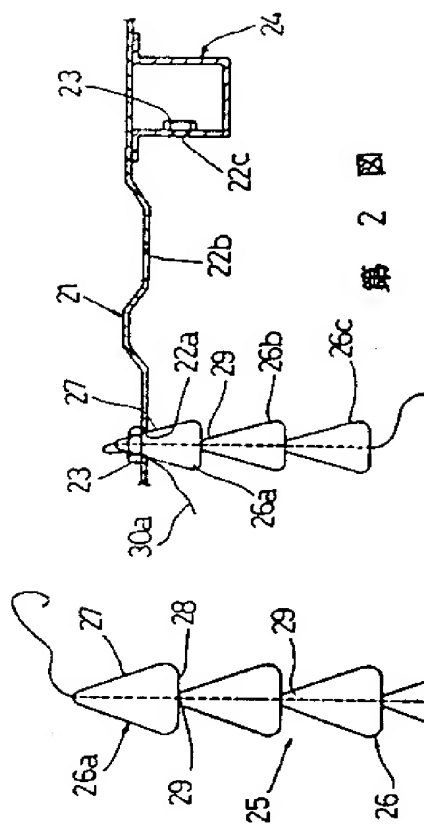
26, 34, 35…マスキング駒

— 10 —

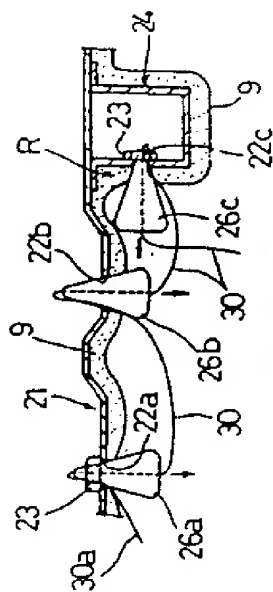
2 7 , 2 7 a , 2 7 b … 円 錐 面
3 0 … 系 部 材

出 願 人	ア ラ コ 株 式 会 社
代 理 人	弁 理 士 岡 田 英 彦 (外 3 名)

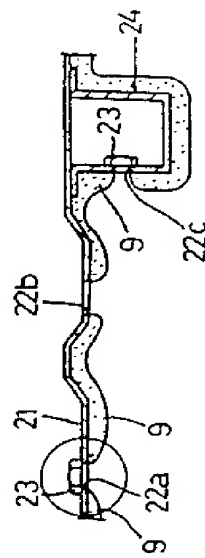
- 21...フロアパネル
 22a, 22c...取付孔
 22b...挿通孔
 25, 32, 33...マスキング材
 26, 34, 35...マスキング材
 27, 27a, 27b...円錐面
 30...糸部材



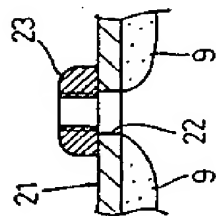
第 2 図



第 3 図

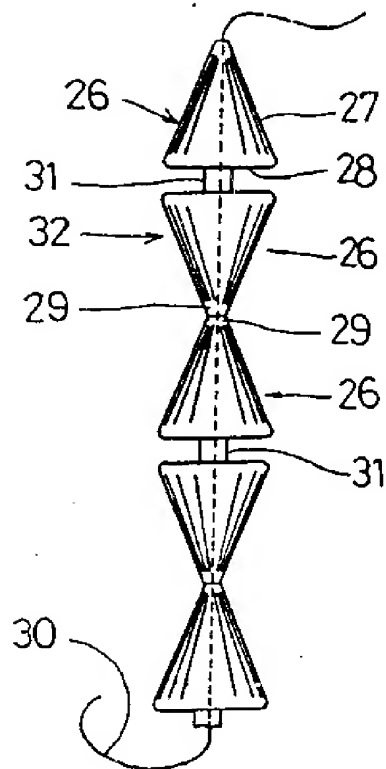


第 4 図

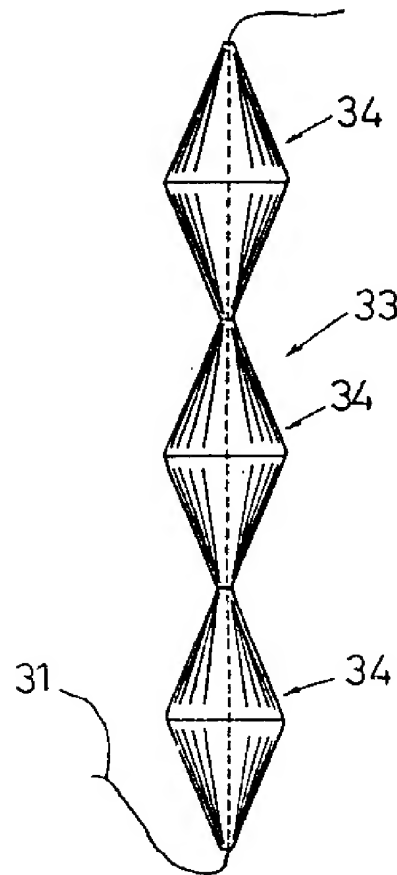


第 5 図

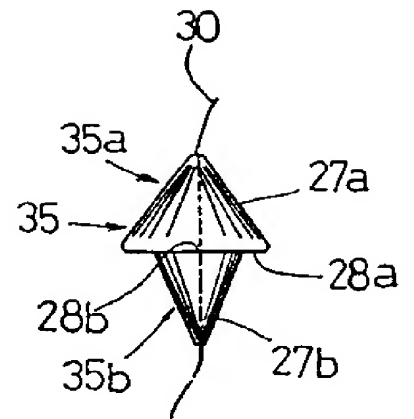
出願人 ア ラ コ 株 式 会 社
 代理人 弁 理 士 岡 田 英 彦 (外 3 名)



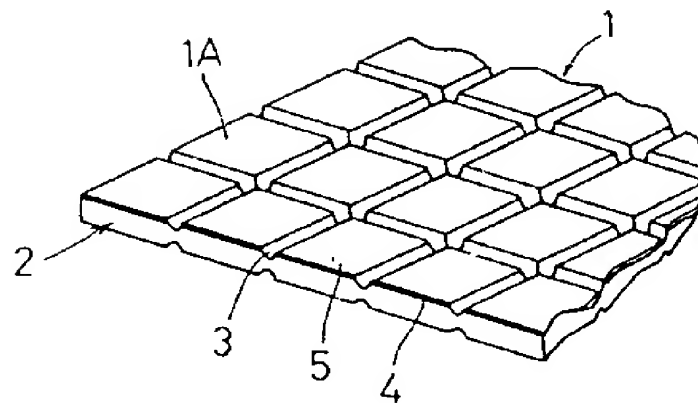
第 6 図



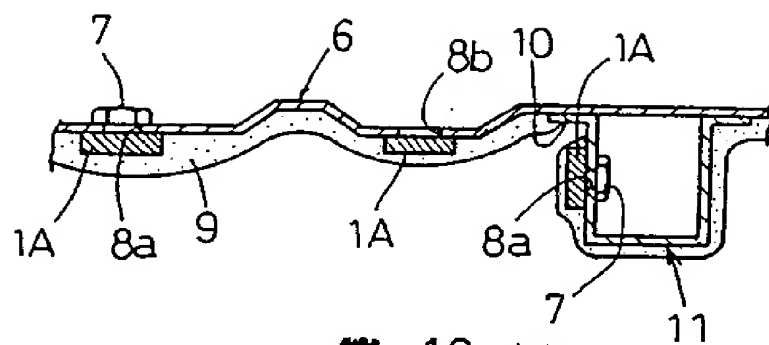
第 7 図



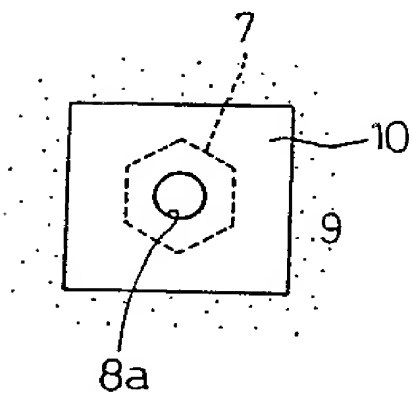
第 8 図



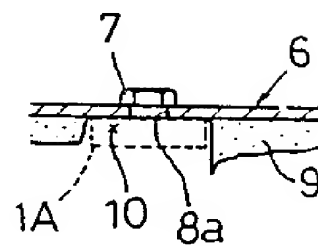
第 9 図



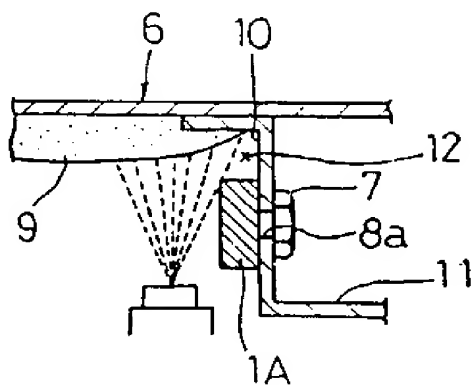
第 10 図



第 11 図



第 12 図



第 13 図